

令和3年度(2021年度)つくば市役所地球温暖化対策実行計画(事務事業編)実績(対象:つくば市庁舎及び出先機関)

項目	2013年度 実績値 (基準年度)	2020年度 実績値	2021年度 実績値	基準年度 増減	基準値比 (%)	目標値	増減の主な要因
C02排出量(t)	51,555	54,089	48,768	△ 2,787	-5%	49,473	人口増加に伴う学校や給食センター、児童クラブ等の新設や空調機導入による電気使用量増加、エネルギー転換による都市ガス使用量の影響が大きい。
C02排出量(t) (一般廃棄物の処理による排出を除く)	20,674	20,325	19,893	△ 781	-4%	18,884	環境配慮契約の導入により、発電効率の良い電気の使用による温室効果ガス排出量が大幅に減少している。ただし、電化や都市ガス化が進んでいるものの、それ以上にエネルギー消費量が増加している。
電気使用量(kWh)	33,307,088	36,318,805	36,810,905	3,503,816	11%	—	新型コロナウイルスの影響により2020年度休館していた施設が通常稼働に戻り、使用量が増加した施設が多くある。また、基準年度からの増加要因としては、小中学校、児童クラブ及び学校給食センターの新設、上下水の使用・処理量の増加、サステナ管理課におけるごみ処理量の増加等、人口増加による影響が考えられる。
ガソリン購入量(L)	216,746	155,907	168,741	△ 48,004	-22%	—	新型コロナウイルスの影響により、2020年度は本庁舎における公用車の走行距離が大幅に減少したが、通常稼働に戻り増加した。基準年度比では、公用車の燃費向上により、減少傾向にある。
軽油購入量(L)	89,696	61,309	59,464	△ 30,233	-34%	—	幼稚園や保育所、福祉支援センター等の送迎バスが軽油からガソリンに燃料転換され、減少傾向にある。
A重油購入量(L)	162,800	48,250	45,200	△ 117,600	-72%	—	給食センターのエネルギー転換(都市ガス化)によって大幅に減少している。
灯油購入量(L)	520,478	318,733	294,853	△ 225,625	-43%	—	一部の施設を除き、エネルギー転換(都市ガス化)により継続的に減少している。
都市ガス使用量(m <sup>3</sup> )	572,328	1,088,442	1,082,321	509,993	89%	—	液体燃料からの転換によって増加している。 ※軽油、A重油、灯油に比べて都市ガスのC02排出係数は低く、高効率機器の導入が進んでいる。
プロパンガス使用量(kg)	43,080	34,879	33,067	△ 10,013	-23%	—	全体的に減少傾向にある。
熱使用量(MJ)	6,895,973	5,780,493	6,447,638	△ 448,335	-7%	—	主にカピオ、ノバホール、中央図書館、吾妻交流センター、つくばイノベーションプラザで使用されているエネルギーの1つ。新型コロナウイルスの影響により2020年度休館していた施設が通常稼働に戻り、使用量が増加した施設がある。

※電気使用量は、つくばサステナスクエア焼却施設が使用した電力量のうち、自家発電して使用した電力量を除いて算出。